



やまとの安全

令和4年1月17日
奈良県警察本部課
生活安全企画課
(犯罪抑止対策室)

特殊 詐欺

県内被害件数及び被害額(令和3年中・暫定値)

101件 約3億3,500万円

令和3年中の県内特殊詐欺被害は、前年と比較すると件数は74件減少したものの、被害額は約2,440万円増加しました。1件あたりの被害額は平均すると約330万円と高額になっているほか、様々な手口で被害が発生しています。

市町村別被害件数・被害額(令和3年中)

市町村	件数	被害額(約)	市町村	件数	被害額(約)	市町村	件数	被害額(約)
奈良市	44	8,410万円	王寺町	2	360万円	河合町	1	100万円
橿原市	15	9,760万円	天理市	2	9,370万円	三郷町	1	200万円
大和郡山市	10	1,180万円	平群町	2	29万円	広陵町	1	100万円
生駒市	8	1,480万円	五條市	1	22万円	葛城市	1	50万円
大和高田市	6	1,440万円	桜井市	1	450万円	宇陀市	1	35万円
御所市	4	380万円	香芝市	1	150万円			

被害の多い手口

被害が多かったのは「還付金詐欺」「キャッシュカード型」「架空料金請求詐欺」でした。**手口を知っていることが被害予防につながります。**

●還付金詐欺

市役所職員等を名乗り「介護保険の払戻しがある」等と言ってATMへ誘導し、手続きのためと操作方法を偽ってお金を振り込ませる手口

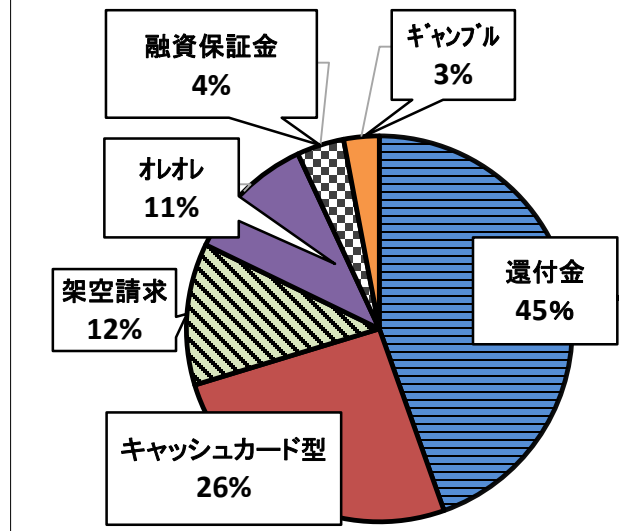
●キャッシュカード型

警察官を名乗り「口座が不正利用されているのでカードを封印する」等と言ったり、金融機関職員を名乗り「カードが古いので交換する」等と言ってキャッシュカードをだましとる手口

●架空料金請求詐欺

NTTファイナンス等の実在する企業を名乗り、「未納料金がある」等と言って指定した口座へ必要の無いお金を振り込ませる手口

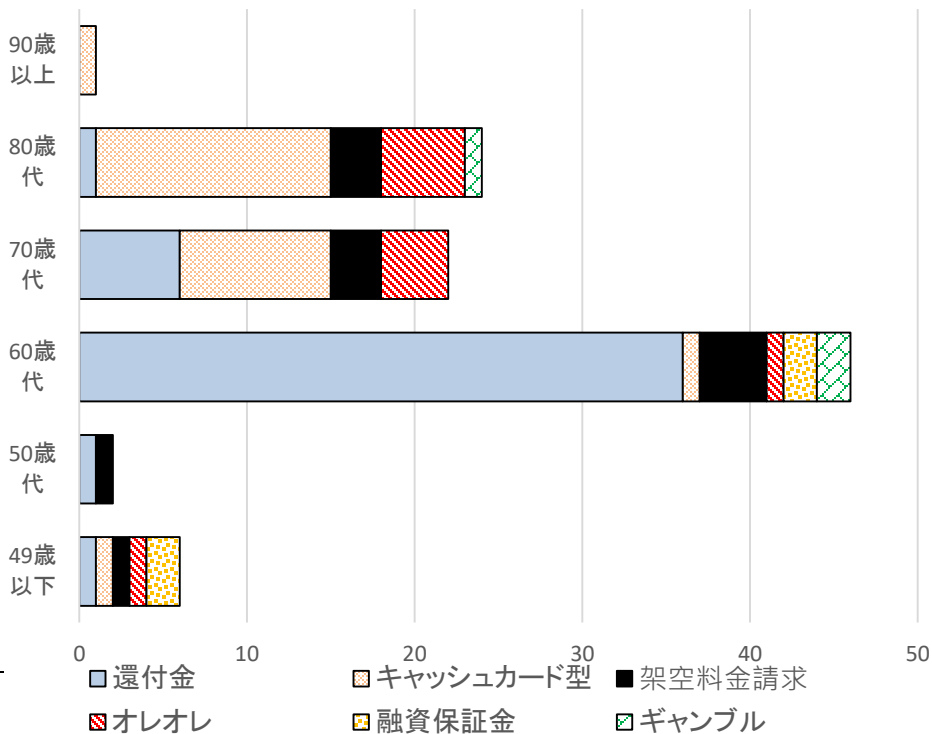
【手口別被害割合】



年齢別被害状況

被害者の92%以上が60歳以上の方でしたが、高齢だからだまされやすいというわけではなく、犯人に狙われるリスクが高いことを示しています。

犯人は、「老後のため」「子供や孫のため」にとコツコツ蓄えた財産を狙っています。「うちには財産なんてないから大丈夫」という考えは禁物。一度だまされてしまうと、定期預金や保険を解約したり、カードローンでお金を用意する方もいますので、だまされないための予防対策が大切です。



特に・・・

60歳代の方は、**還付金詐欺**にご注意！

◎ATMの操作をお願いして、還付金を受け取ることはありません。

70歳以上の方は、**キャッシュカードをとられる手口**にご注意！

◎暗証番号を聞いたり、キャッシュカードを預かることはありません。

STOP!
携帯電話

ATMでの
通話をご遠慮
ください

令和3年中、不審電話や不審メールの相談は、県内各地から合計1400件以上寄せられていますので、被害のない地域でもご注意を！



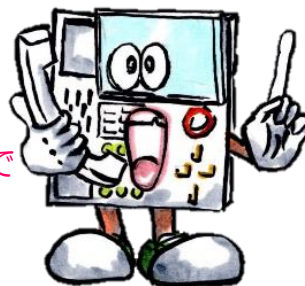
予防対策は電話機から！

優良防犯電話

検索

防犯電話（迷惑電話防止機器）の設置

不審電話の着信を自動で拒否したり、通話を自動で録音する機能が付いている「防犯電話」に替える。



家にカギをかけるように、電話機に防犯対策をしましょう。